

「クルーズ船寄港地観光等外国人旅行者に対応した、道の駅「なかとさ」を拠点とする情報発信強化及び周遊促進社会実験」について

土佐国道事務所	計画課	井元 健太郎
松山河川国道事務所	道路管理第二課	課長 宮武 貴志
道路部	地域道路課	事業第一係長 秋森 良一

コロナ禍以前、高知県ではインバウンド誘客の取組みの強化により、訪れる外国人観光客数が増加していた。一方、中土佐町では地域資源・観光資源を活かした外国人観光客誘致の仕組みが確立されておらず、受け入れにあたっての環境も整備されていない。このことから、コロナ後を見据え、クルーズ船等の外国人観光客のニーズに合った中土佐町の地域資源・観光資源の情報発信や周遊しやすい環境の整備が求められている。そこで、外国人を対象とした情報発信の強化や周辺観光を促進する様々な取り組みを行い、中土佐町での観光がクルーズ船の寄港地観光ツアー商品となることの有効性について検証を行った。本論文は令和2年度に実施した社会実験について報告するものである。

キーワード 道の駅、外国人観光、周遊促進、クルーズ船

1. はじめに

高知県西部に位置する高岡郡中土佐町（図1）にある久礼地区は、クルーズ船の寄港する高知新港から約1時間圏内に位置する。さらに、令和3年2月には高知南国道路の開通によりアクセス性が向上しており、クルーズ船観光客の誘致を行うことで、多くの来訪者が見込まれる。主要観光施設の所在するエリアは、道の駅「なかとさ」を核として、周辺には久礼大正町市場、久礼八幡宮、黒潮本陣、酒蔵などの地域資源・観光資源がある。

しかしながら、中土佐町では地域資源・観光資源を活かした外国人観光客誘致や周遊観光の仕組みが

確立されておらず、受け入れにあたっての環境も整備されていない。そのため、クルーズ船客等の外国人観光客を誘致し、周辺地域の観光の活性化に活かすためには中土佐町の地域資源・観光資源の情報発信を強化し、周遊しやすい環境を整備することが必要となる。

こうした状況を背景に、外国人旅行者に対応した情報発信や観光施設間を移動する交通手段の確保、久礼地区における周遊観光の促進といった課題点を抽出した。そして、課題に対する各種取り組みの場として、外国人を対象としたオプションルツアーを実施した。本論文は、令和2年度に実施した社会実験について報告するものである。



図1 位置図

2. オプショナルツアーの実施

(1) オプショナルツアーの実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界的にクルーズ船の運航は中止となっていた。そして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による今後のクルーズ船の運航状況を見通すことは困難であることから、高知県内在住の外国人を対象としたオプショナルツアーを実施した。

(2) ツアーの募集方法

県国際交流課及びこうち観光ナビ・ツーリストセンターの協力を得て、圏内在住外国人に対して募集案内を送付した(図2)。募集対象は高知県内在住の外国人で英語が理解できる方とした。

(3) ツアー内容

令和2年12月5日、6日の2回に分けて社会実験を行った。参加人数は2日間で計30人、出身地域は欧米豪20名、アジア9名、アフリカ1名と幅広い外国人の意見を聴取することができた。ツアーの行程としては、道の駅「なかとさ」を起点に西岡酒造での酒蔵見学や黒潮本陣での昼食、周辺(図3)の自由散策を実施した。また、今回の社会実験に合わせてWebサイトの多言語化や情報発信の強化といった様々な取り組みも同時に行っている。



Request for participation in research on tourism in Kure Nakatosato Town

[Details]
We are looking for people to participate in research on tourism in Kure Nakatosato Town. We want to find out if people can visit the area easily.

[Request for participation]
On the day, you are asked to fill out a survey sheet and also answer questions from staff. After, if possible, please share your views on the appeal of Kure Nakatosato Town through SNS.

[Target]
Overseas visitors with a high level of English proficiency

[Location]
Around Kure Nakatosato Town

[Date and time]
Saturday, December 5th or Sunday, December 6th

[Number of applicants]
15 people each day (30 people over 2 days)
*Please choose which day you prefer.

[Participation fee]
Free

[Schedule]
9:00 - Free chartered bus departs from Kochi City.
10:00 - Arrive in Kure Nakatosato Town.
*You may also go directly to the Michi-no-eki NAKATOSATO (roadside station) by 10:00.
10:00-10:50 - Sake brewery tour and sake tasting at Nishioka Sake Brewery.
10:50-11:00 - (Move to the next location for lunch)
11:00-12:20 - Opportunity to try preparing katsuo-no-tataki (Lightly roasted Bonito) and have lunch (free)
12:20-12:30 - (Move to the Michi-no-eki NAKATOSATO (roadside station))
12:30-14:45 - Free time *Please be sure to come back by 14:45.
14:45-15:30 - Fill out survey sheet and answer questions from staff.
15:30 - Finish (Free chartered bus users go back to Kochi City)

*Free rental electric bicycles will be available from the Michi-no-eki NAKATOSATO (roadside service station)
*Free shuttle bus from the Michi-no-eki NAKATOSATO (roadside station) to major tourist destinations.
*English Town map and translation terminal are available.

If you would like to participate, please send the following information by email by 31st Oct.
1) Desired date of participation (5th or 6th)
2) Names and nationalities of all who wish to participate.
3) Contact phone number and email address.
4) Whether or not participant(s) wish to use the chartered bus between Kochi City and Nakatosato Town.
【Contact】 Kochi Tourist Information Center Email : info@navi.kochi.jp Tel : 088-856-8670

This event may be cancelled depending on the situation regarding COVID-19.

This survey is conducted by the FisheriesCommerce and Industry Division of Nakatosato Town

図2 ツアーの募集案内



出典 (国土地理院: 電子国土WEB)

図3 ツアーでの主な周遊ルート

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

モニターツアーの実施にあたって新型コロナウイルス感染症対策を実施した。具体的には、ツアー参加者への検温、体調チェックリストへの記入、各施設へ入る際のアルコール消毒を行った。加えて、交通機関や宿泊・観光施設等の旅行関係業界の業界団体等で構成されている旅行連絡会の「新しい旅のエチケット(英語併記)」を配布した。

3. 多言語化や各種ツールの設置

(1) 多言語化による情報発信について

外国人旅行者に向けた道の駅についての情報発信の強化を目的に道の駅のWebサイトの多言語化を行った。(図4)。加えて、周辺観光スポットについての情報についても多言語で発信することで、久礼地域での周遊を促進している。

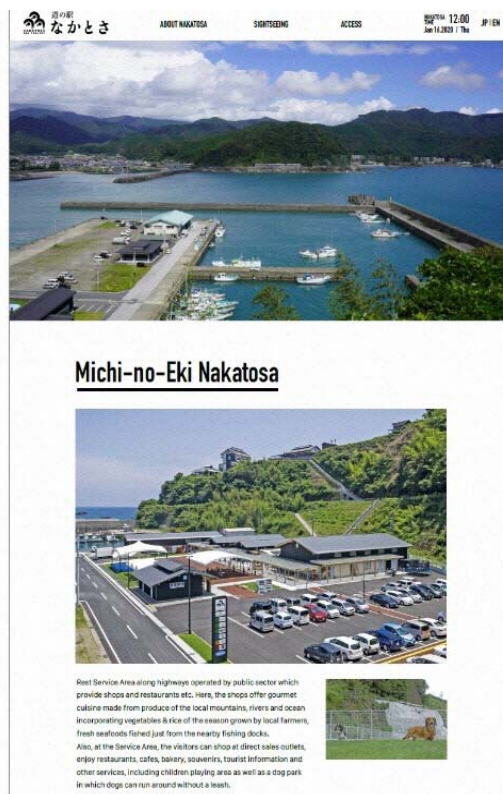


図4 道の駅「なかとさ」のWebサイト

道の駅の Web サイトに加えて、観光地においても多言語化の取り組みを行った。久礼地区の案内看板は多言語に対応していなかったため、外国人旅行者が観光に訪れた際に道の駅内の店舗や周辺の観光地等の情報を見ることができなかった。そこで、利便性の向上と道の駅内の回遊性向上を図るため、道の駅内の各棟を英語で紹介する案内板を社会実験の間、仮設置した（図 5）。

同様に、久礼地区の主要観光スポットの導線上についても、各施設・観光スポット等へ誘導する案内看板を 12 箇所、通り名の案内看板を 11 箇所、まち歩き案内板を 4 箇所に仮設置した（図 6）。案内看板については久礼地区の景観に配慮した統一的なデザインかつ落ち着いたトーンのものを採用している。

（２）周遊を促進する各種ツールについて

今回の社会実験では、情報発信の強化に加えて、道の駅「なかとさ」を拠点とした周遊を促進する取り組みとして、様々なツールの活用を実施した。

a) 久礼地区へのWi-Fi設置

外国人観光客に向けて、現地での情報収集を促す有効な手段の一つとしてWi-Fiの設置が挙げられる。道の駅周辺ではWi-Fiが設置されていたが、久礼大正市場等の観光地には設置されていなかった。通信状況の改善は多言語に対応した道の駅のWebサイトの閲覧や周辺地域の地図情報の取得に役立つものであり、久礼地区での周遊の促進に結びつくものであると考えられる。そこで、久礼地区の観光情報を円滑に取得できるよう、道の駅や周辺観光地に無料で利用できるWi-Fiの設置を行った（表1）。



図 5 道の駅内の各棟を紹介する案内板



図 6 案内看板の例

b) シェアサイクルやシャトルバスの活用

限られた時間の中での観光地間の移動を円滑に行い、周遊観光を促進することを目的に、道の駅内に電動アシスト自転車を10台設置した（図7）。設置した自転車は電動アシスト機能によって安定性と運搬性を備えている。

さらに、徒歩や自転車での移動が困難な方についても久礼地区での観光を楽しんでいただくために、道の駅を拠点に久礼八幡宮や久礼大正町市場等の主要な観光地間を循環するシャトルバスの運行を行った（図8）。

c) 翻訳端末の設置

買い物や観光地における周遊の際、店舗等の方々と円滑なコミュニケーションをはかるために、多言語対応の翻訳端末の設置を行った。道の駅「なかとさ」内や黒潮本陣、西岡酒造店等の観光施設に設置することで、インバウンド観光を受け入れる体制を強化した。

表 1 Wi-Fi の設置箇所

エリア	設置箇所
黒潮本陣周辺	黒潮工房
道の駅「なかとさ」周辺	道の駅「なかとさ」内 マルシェなかとさ
久礼大正町市場周辺	久礼大正町市場内2か所、 観光拠点施設ぜよびあ
JR 土佐久礼駅周辺	JR 土佐久礼駅



図 7 シェアサイクル乗車の様子



図 8 シャトルバス運行の様子

4. 実験結果と参加者からの評価

本社会実験で実施したツアーや整備したツール等に対する満足度や有効性を調査することを目的にアンケート調査を実施した。アンケートの対象者は、ツアーに参加した30名である。

(1) オプショナルツアーの実施について

ツアー参加者に対するアンケートでは、中土佐町における旅行の満足度は、10点満点中10点が70%、9点が10%、8点が20%と回答しており、多くの参加者が高い満足度を得ていることが分かった。中土佐町への再来訪意向についても10点満点中10点が77%、8点が10%、7点が13%と回答しており、再来意向についても高い評価を得ている。具体的に良かった点としては、カツオの薫焼きタタキ体験、黒潮本陣での昼食、久礼の美しい景色や街並み、歴史的な景観など食や観光地としての資源そのものに対する魅力についての回答が見られた。

(2) 多言語化による情報発信について

道の駅「なかとさ」のWebサイトに関しては、21名の参加者が利用している。Webサイトに対する満足度は回答者のうち3/4以上の方が10点満点中10点と答えており、高い評価を得ることができた。また、Webサイトは中土佐町を観光するのに役に立つかという設問に対しても、3/4以上の方が10点満点中10点と回答している。Webサイトを見た外国人旅行者に対して、有効で使いやすい情報を提供することができたと考えられる。

英語表記された案内板に関しては、14人の参加者が観光周遊に活用している。案内看板を見て周遊した満足度について、10点満点中10点と回答した利用者が36%、9点と回答した利用者が50%を占めている。案内看板の設置によって目的地を見つけやすいといった声もあり、高い評価につながったと考えられる。一方で、紙の町歩きマップやWebサイト掲載の地図情報を活用したため、案内看板を周遊に使わなかったといった声もあった。多様な選択肢を用意することで、それぞれの観光客に合ったツールを活用していただくことが引き続き必要である。

(3) 周遊を促進する各種ツールについて

a) 久礼地区へのWi-Fiの設置

参加者のうち10名がWi-Fiを周遊に活用している。その中で、7名がツアーの拠点である道の駅「なかとさ」で利用していた。久礼地区に設置したWi-Fiを利用してどのようなことを行ったかという設問に対しては、中土佐町の観光情報の取得、Googleマップ等での位置情報や経路情報の取得といった回答が多かった。

b) シェアサイクルやシャトルバスの活用

観光地を周遊する手段として、13名の参加者がシェアサイクルを利用している。満足度については、10点満点中10点と回答した参加者が利用者のうち

92%、9点と回答した方が8%を占めており、周遊のために整備した環境やツールの中で最も満足度が高い結果となった。シェアサイクルを利用した理由としては、徒歩より速く移動できることや無料で利用できたことを挙げる参加者が見られた。限られた時間の中で多くの場所を訪れたいという旅行者のニーズに対するシェアサイクルの有効性を把握することができた。

シャトルバスについては、17名の参加者が利用している。シャトルバスを利用した満足度について、利用者の88%が10点満点中10点、残りの12%が9点と回答している。シャトルバスに関しても、運行の頻度が多いことや効率的に観光地を回ることができることから好意的な評価をした回答が多かった。一方で、バス停の場所が分かりづらかったといった課題を指摘する声もあった。

c) 翻訳端末の設置

翻訳端末の利用者は6名であり、他のツールと比較して利用者が少なかったが、利用者からは買い物の際に役立ったといった声があった。また、地元の施設からは、スムーズに外国人とコミュニケーションがとることができたため、今後も活用したいという声もあり、外国人観光客だけではなく観光客を迎え入れる地元の施設側からの需要もあることが分かった。

5. おわりに

道の駅「なかとさ」を情報発信と周遊促進の拠点とした本社会実験では、整備した環境やツール及び中土佐町観光に関して多岐にわたる有用な意見を得ることができた。ツアー後に実施したアンケート結果からは、中土佐町久礼地区における観光の満足度、再来訪意向等について非常に高い評価を得られたことが分かった。さらに、社会実験後の令和3年2月27日には高知南国道路が開通しており、高知新港や高知龍馬空港から中土佐町へのアクセス性が実験前と比べて向上している。このことから、コロナ収束後の観光需要の増加を見据えて、外国人観光客の受け入れ体制を強化するとともに中土佐町の魅力を引き続き発信していく必要がある。